

かわせみ号の紹介

河川流量測定の場合 普通2隻の舟を使用しているが冬期などは一般民有の舟は使用しないため流水路から離れて格納保管してあり また調査の性質上作業場所の移動等のため 舟の借上や移動運搬に大きな困難がともなっていた。 その地点質調査所の「かわせみ号」はそうした難点を大いに助けてくれる。

このかわせみ号は 陸上を楽に運搬できることを最大の目的として作られており 「へさき」の部分と「とも」の部分に分かれて折りたたまれる。 舟体は鉄打ち合板製で強度は強く 折りたたむ箇所は二重のキャンバスでできている。 使用するときには「へさき」と「とも」が簡単な操作で連結でき 連結したときの安定性は普通の川舟よりも良好である。

重量は「へさき」の部分が約40kg 「とも」の部分が約70kgであり 折りたたんだ時の大きさは 厚さ約20cm 幅約140cm 長さ2mぐらになり 大人4人で楽に取



測定地点で舟をおろし組立てる 組立・分解に要する時間は約10分間である

扱うことができ 移動する時は ジープにつけたトレイラに積載して運搬している。

舟を動かすには4本のオールが備えつけられているほか 水深50cm以上のところでは エンジンプロペラが使用できるようになっている。

流れに対する抵抗がふつうの河舟よりだいぶ大きいので 流れの急なところでは 上流に進むのに困難することがあるが エンジンプロペラを使用した時のスピードは普通は 3哩/時 前後出すことができる。

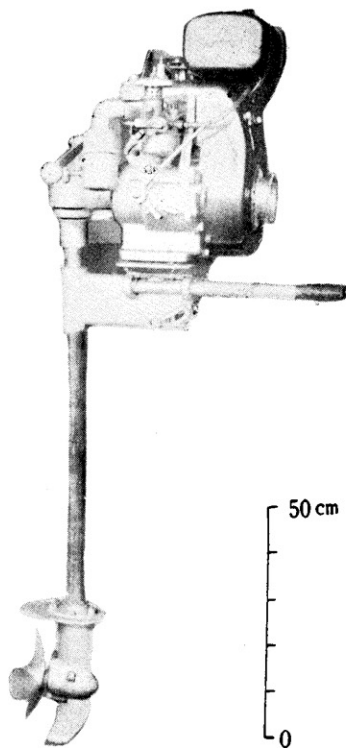
(地質部 工業用水課)

かわせみ号(折りたたみ舟)の諸元			
長さ	3m 90cm	幅	1m 40cm
高さ	0m 55cm	自重	110kg
塔 載 量	吃水 15cm のとき	約 600kg	
	吃水 25cm のとき	約 1,000kg	
乗舟人員	8名		
舟 外 機	スパロー 舟外機(三菱メイキエンジンG型3.8HP)		

→
大井川のような急流河川では 舟を下流から上流に数kmもさかのぼらせることが困難でジープに積んで運搬する



→
かわせみ号による流量測定舟を使用しての流量測定の場合は舟の安定性が悪いと流速計が揺動して測定誤差が多く出る その点折りたたみ舟は普通の川舟よりも安定性が良く 測定誤差も少なくてすむ



かわせみ号に使用しているエンジン